

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0969
施設名	東雲キャナルコートNURSERY SCHOOL
施設所在地	江東区東雲1-9-51
法人名	社会福祉法人高砂福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

テクノロジー

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園では日常的にパソコンなどICT機器を活用しており、子どもたちが身近にデジタルツールに触れる環境がある。また、周囲にも多くのテクノロジーが多く存在し、散歩や園外活動の中でも目にする機会が多く、子どもたちが「これはどうやって動いているの？」など興味関心がみられる。

これらがただある存在にせず、生活の中にある「便利さ」や「仕組み」に気づきテクノロジーへの興味関心を深められると考えた為

2. 活動スケジュール

令和7年6月

探究活動をするにあたり子どもたちとどんな事を知りたいか調べてみたいかの話あいの場を設ける

令和7年7月

紙とタブレット、同じように描ける？何がちがう？

実際に紙とiPadなどに絵を描きその違いを体験する。

令和7年8月 信号機はなぜ順番に変わる？信号（赤・黄・青）が変わる順番はどの信号も同じなのか、それぞれの色がどれくらいの時間点灯しているか調査する。

→プログラミングの「ループ」を学ぶ

令和7年9月 信号機の時間を計ってみよう！

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

絵の題材としては、紙と絵の具、クレヨン、マーカーなどの画材、そしてパソコンは子どもたち2人に1台用意し、少人数グループで交代しながら使用できるようにすることで、友だちと対話しながら活動を進められる環境にする。保育士は子どもの主体性をもとに活動を展開し見守る事を心がけた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

パソコンで絵を描くときと、紙に絵を描くときでは、どんなところが違うのか
「紙ではできないこと、パソコンだからできることってあるのかな？」など実際に体験した違いを考えられるようにする。また、「信号はどうして赤や青に変わるんだろう？」「信号はどんな順番で変わるの？いつも同じなの？」といった問いを通して、身近なテクノロジーの仕組みについて探求活動を行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
パソコンで実施したときの違いを体験しながら比較する。描いたものを友達と見せ合い、感じた違いや発見を対話の中で共有する。信号について「順番はいつも同じ？」といった問いをもとに、園周辺で撮影した信号の写真や海外の信号機の動画を見ながら観察する。ストップウォッチを使って秒数を測ったり、シールなどを使って実際に並べ替えを試し信号の役割や仕組みに理解を広げていく。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動中・終了後に、子どもたちは自分の考えや制作したものを発表の場を設け、自分の考えを簡単な言葉で表現する機会を作る中で友だちの意見や気づきまたコミュニケーション能力の発達にもつながる事が確認できた。また自分たちの身近にあるテクノロジーとは何か？「これもテクノロジーなのではないか」と自分自信の感じた事を最大限に表現できる機会でもありました。また大人が全て教えるのではなく子どもたちの意見を聞き探究活動を進めて行くことでより深い学びにもなる事がとても重要であると感じました。